



もえぎの会理事・茅ヶ崎市議会議員 和田 清

「夢」を語る事の出来る福祉現場は、いつ来るのか？

福祉は今、長く暗いトンネルの中！

福祉は、大きな改革が進んでいます。日の当たらなかつた場所にも、少しずつ手が伸びていますが、どの現場も、人材不足や「職員のやる気」の問題が見られます。とても、「将来に夢を見て、明るい気持ちで仕事ができる」ようには感じられません。制度が変わったり、単価が下がったり、今までも大変だった現場で、混乱と不安が広がっています。障害者自立支援法は、目指す方向はとても良い法律ですが、現場にきちんと支援が成り立つ収入が確保されなければ、歪みが出てしまいます。まさに今、福祉は「暗く長いトンネルの中にいる」と言えましょう。はたして、このトンネルは出口が見えるのでしょうか？

なぜ、障がい福祉はきびしいのか？

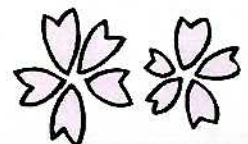
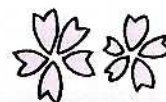
かつては、山奥に大きな施設が作られ、その中で閉じ込められる福祉でした。それが、「地域生活が大切だ」ということで、町中に通所施設やグループホームが出来てきました。建設の資金から職員の給与まで、国は「保障」してきました。今は、日割単価となり、職員の経験は考慮されず、効率よく、安い人件費でサービスをしなければならないのです。介護は、問題を抱えながらも、動いているので、障がい者にも導入しようとしたのが障害者自立支援法です。個別対応や障がい特性を理解する専門性が必要な分野では、上手く行くはずはありません。

地域独自の支援システムが「カギ」

どこから突破したら良いのでしょうか？ 地域の実情にあった仕組みを作っていくしかありません。国のモデルに無理に合せて、立派な施設を作る必要はないのです。身近な市区町村で、「こんな事で困っている。」「こんな支援があったら良いのに。」といった事から、一つ一つ積み上げることが大切です。障がいを持つ子は、地域で支えていくしかないのです。障害者自立支援法にメニューは、沢山ありますが、収入は保障されません。行政と連携して、ひとつひとつ実現して行くしかありません。

制度より先に実践あるのみ！

「制度を作る側にまわれば、きっと支援体制が作れる。」と思い、市議会議員になって一年が経ちますが、最近思うのは、実践がないところで制度や支援を組立てようとしても上手くいかない、という事です。行政が仕組みを作ると、「かたち」から入り、実態に合わないのです。先行して良い実践が行われ、効果的に公的支援が行われてこそ「役に立つ仕組み」が出来るのです。採算の取れない支援も、利用者や家族の協力を得て、一つ一つ、積み重ねて行く事が必要です。議員も行政も福祉の向上を願わない人はいませんが、「良い実践」と「何が必要か」という情報が届いていないのです。今は、地域から変えて行く時代です。家族や地域の人たちの協力を得て、職員が中心となったチャレンジに期待します。



2008年度事業計画

施設長 渡邊 浩成

4月に入り、春の訪れとともに新年度が始まりました。季節の変わり目、人の出入りが多い季節ですが、その中でも、社員(利用者)が落ちついて過ごしているところを見ると改めて成長を感じます。

日本では、円高が進み、原材料の値上げがマスコミの話題として賑わせていますが、しいの実社でも仕入れや運営に影響が出ています。その中で、製品の原価計算を見直し、日時や天候などによって製造の調整をして乗り切っていこうと考えています。

障害者自立支援法では、さらなる定員の緩和が認められ、しいの実社でも、新規の社員を迎え、定員を超えた運営になりました。とはいえ、しいの実社内部もスペースに限りがあり、部屋の有効活用をしても限界があります。今までも、社員の空間・心地よい場所づくりには、力を入れてきましたが、今年はさらに新しい事業を検討していくことになると考えています。

しいの実社は、新体制になって3年が経ち、今年度の重点課題は下記のように計画しました。

- 1.運営体制、授産部門の再編成
- 2.マニュアル、書類、記録の整備
- 3.新体系の移行
- 4.新規事業の計画

課題が達成できるように、それぞれに詳細な計画を作り、1つ1つ確認しながら進めていこうと考えています。新体系移行の検討しながら、仕事の効率化、よりよい運営ができるように併せて行っていきます。

利用者が明るく、楽しく通ってこれることは勿論、地域に開かれた施設にしたいと考えています。また社員が、安心して生活できる為にしいの実社では何ができ、支援として何が不足で、何が必要かを見ながら進めていきます。

目黒区において、もえぎの会が新たな取組みの足がかりになるような年が始まりました。

ショップ

昨年度から月に1回お店やしいの実社で行うイベントや新製品の告知を主な目的としたショップ版「しいの実通信」を発行しています。今年度も継続して発行していく予定ですので、ショップに立ち寄られた際にはぜひお手に取ってください。

ショップは、しいの実社(社員・スタッフ)とお客様—地域をつなぐ重要な場所と考えています。

お客様が何度も通いたくなるような雰囲気作りに心掛け、みなさまの来店をお待ちしております。

お誘い合わせのうえ足をお運びください。

営業時間

10時～19時 (土日祝日休み)



しいの実祭 2007年11月23日

しいの実社の創立記念日のイベントとして始まりましたしいの実祭りも、早いもので6回を数えることとなりました。

当日は好天に恵まれ地域をはじめ多くの方にご来場をいただきました。今年もしいの実社の製品販売、また清水町会にご協力いただいたの焼きそば・フランクフルトの模擬店、外部のサークルをお招きしての人形劇などの出し物にはご来場いただいた方々に大変好評をいただきました。

地域や後援会の方々から献品していただきました品物は、後援会の運営によるバザーに出品させていただきました。昨年からの試みでしたがたくさんの方々にお買い求めいただきこちらも好評をいただけていました。

これからもしいの実祭りを通し、地域とのかかわりを深め、地域に根差していきたいと思えます。



しいの実社製品が買えるお店

☆手作り作品のボックスギャラリー ROSY TEL3715-2200 織物・クラフト製品

目黒区鷹番3-3-11 10:30 ~ 19:30 定休日 日曜日

ホームページ http://www.d7.dion.ne.jp/~terminal/spr/30_06.htm

☆くりえいと工房 MINK TEL3794-3600 織物・クラフト製品

目黒区鷹番2-18-3 11:00 ~ 18:00 定休日 土曜日・日曜日・祝日

☆サンライトヴィレッジ 織物製品

目黒区自由が丘2-5-10-101 月~金 11~13時 定休日 水曜日・土曜日・日曜日

☆千種屋 TEL03-3473-1032 織物製品

港区白金台2-26-8

☆メレンダ TEL3722-7054 織物製品

大田区田園調布1-52-16

ホームページ <http://merenda.iinaa.net/>

☆カフェ・ユイ TEL5701-6676 クッキー・織物・クラフト

*しいの実社の玄米パンを使用したランチが食べられます

世田谷区奥沢2-10-7 定休日 火曜日

☆目黒美術館 喫茶コーナーTEL3714-1201 クッキー

*喫茶コーナーの営業時間 13:00 ~ 16:00

目黒区目黒2-4-36 定休日 月曜日(美術館休館日)

